



発行所 田代町公民館電19

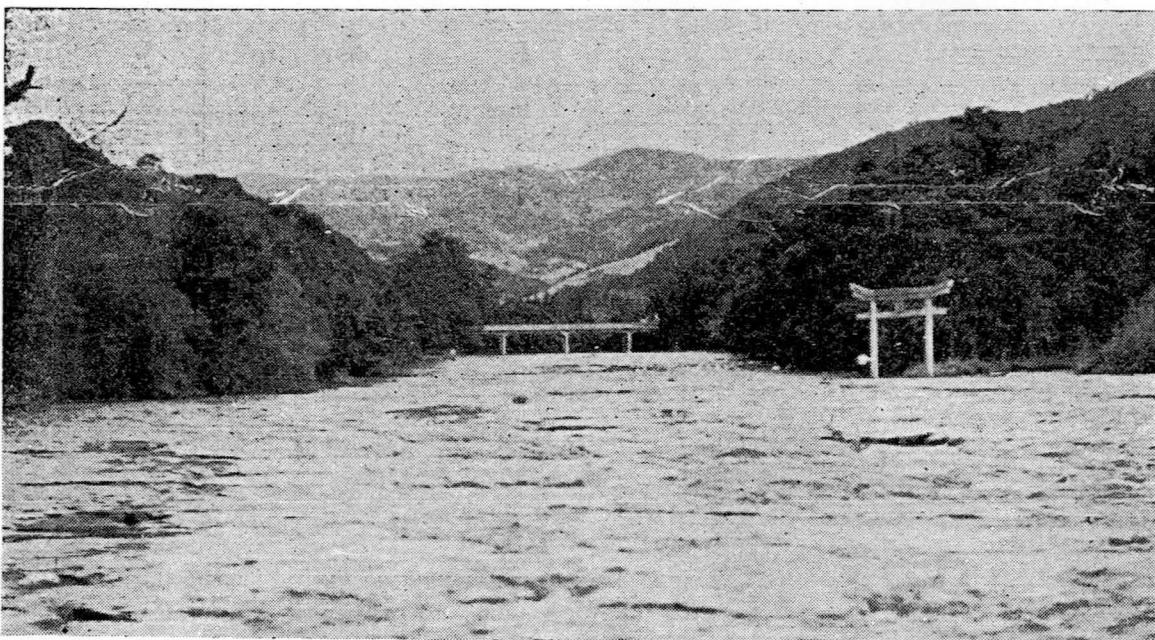
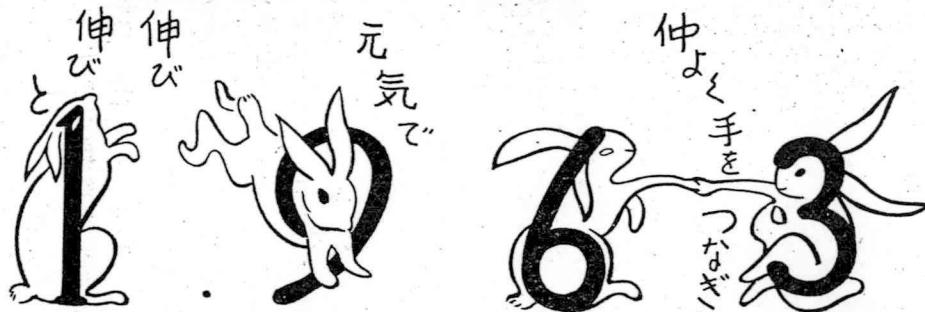
発行責任者 小川兵一  
編集責任者 前原勇孝

1月号

印刷所 鹿屋市 新生社印刷所  
電2238

とじて保存しましよう

○



## 昭和36年度田代町努力目標実績

昭和37年度努力目標  
産業面

1. 畜産の振興  
「生産の増強をはかり経営の  
合理化につとめよう。」
- 仔牛 600頭 生産  
肉豚 4,000頭 出荷

畜産を中心とした営農改善につとめよう

1. 生産基礎牛 900頭確保
2. 肉豚飼育の合理化

## 社会教育面

## 明るい人間関係の確立

読書によつて教養を高めよう  
環境をきれいにしよう

実績  
仔牛生産 478頭 販売代金 18,786,700円  
目標に対する79.7%  
肉豚出荷 2141頭 ツ 26,366,929円  
ツ 53.6%



# 新年を迎へて

町長原

順

つて仕舞う恐れなしとしません。

農業構造改善と云うことは今日の

農家の経営は極めて零細であるが

次第に農家人口が減少するので一

〇年二〇年後には残る農家は経営

規模が大きくなり土地条件を改善

して機械化大規模化することだと

云われて居ります。

成程田代の人口も確に減りつつあ

ります。

然し乍ら一年や二年で経営規模が

今二倍三倍にはなりません。

政府が云う様な理想的な農村の姿

は一〇年も二〇年も先であります

将来の姿を考えつその間を如何

にしてやつて行くかと云う事が今

日最も大きな問題であります。

政府が進めて居る農業構造改善事

業をやつても簡単に改善されるわ

けではありません。

今日の田代で差当りやるべきこと

としては将来構造改善事業をやり

ぬく体制をつくることになります。

その第一はまづ田代の農業は派手

なもののが出来ないと云うことであ

ります。

今日町政の上には幾多の問題が山

積しておりますが最も重大な問題

は私共の生活の基本につながる農

業の問題であります。

又若い人々は都会に転出しおは

中老年となり将来は老人のみにな

しない割に出さなければならぬい

支出は増加して居ります。

田代は農業収入は左程増加

は幸運にあります。

田代は農業収入は左程増加

つて居るが唯今段階では之等の

一大増産を計るべきであり、これ

に依り構造改善を進めて行くため

の足固をする事が大切であると思

三〇〇〇万円位の費用のかかる問

います。之が農政の基本になると

思つて居り、更に之を飛躍させる

ためには町内各機関心を一つにし

思想の統一を計るべきであります

そのため懸案の農業相談所を新

年から開設します。

機構運営等出来る丈早く整備し本

町営農の方向は相談所を中心にして

企画立案から指導迄一貫したも

のに仕上げる様計画しております。

まづ米、甘藷、たばこ、畜産、茶

養蚕を各農家の実体に即して二つ

か三つを組合せた當農の型をつく

ります。

然し乍ら一年や二年で経営規模が

じめ五〇〇有余の方々の御冥福を心

から祈ると同時に心淋しい新年を

迎えられる遺族の方々に心から御

見舞申し上げます。

さて私はなかばにして町長の重責

につくことになりました。

此の新年の機会に今後町政を執行

するについて基本になるべきこと

を述べ皆様方の批判と御協力を戴

きたいと考へております。

今日町政の上には幾多の問題が山

積しておりますが最も重大な問題

は私共の生活の基本につながる農

業の問題であります。

又若い人々は都会に転出しおは

中老年となり将来は老人のみにな

題だけに簡単に移転すると云う事

業は不可能であります。

教育委員会議会を中心にして特別

委員会を組織してじっくり方法を

検討しなければなりません。

次に道路関係については中郡の改

良が終り、次は大根田地区から順

次大根占間を改良出来る様に努力し

すると同時に上原から辺塚迄を近

い将来県道に出来る様目下努力し

て居りますが近く解決出来ると思

います。

何れにしても郷土田代が発展する

ための基礎的な問題である農業の

基本問題交通関係の改善を中心

して町政を進めて行きたいと考へ

て居ります。

林業関係については色々差さり

もあり殊更申上げませんが田代林

業の特殊性にかんがみ云はない方

が花とでも申しますかおたがい皆

さん方の胸の中にあること私が

考へている事は一致していると思

いますので黙つて目標に向つて進

みたと考へます

その他種々あります最も大きな

問題について考え方述べて見

ました。

その内部落座談会を開き色々膝

き合せてお話し致したいと思いま

す。

子どもをしあわせにするという

のは、何も値段の張るもの無理

して買つてやることではないとい

う詩を、ひとつ紹介してみたい。

お金とかあさん

「とうちゃん、

かあちゃん」とお金とお金とお金

「そりがいい」

「あちゃん、

「あちゃん、かあちゃんさ」

「うん、

「あちゃん、かあちゃん」

「ほんと、

「やつぱり」

「いつつて、かたをたた

いてやつた、

この詩を二、三回く

だり返して読んでみてく

ださい。み子ちやわせん

はこの上なくしあわせん

毎日を送つてゐるにわせん

おとうさんも、お母さんも

おだいだそうとしても

お心ではそう思つていい

わんだなあ

いたしまは、胸がいっぱい

いたい、あります。

つぎの詩も、やはりしあわせ

暮らしの中から生れた詩です。

父と母

母が私をおこると、

## 水明

暮らしの中から生れた詩です。

父と母

母が私をおこると、

父がまねしておこる

「そしたら、父がまねしておこる」

「大きくなつたんだからわきま

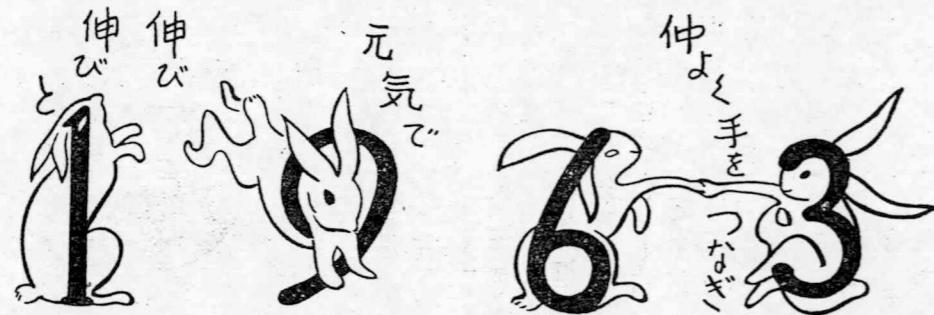
えなさい」といつた。

「そしたら、父がまねしておこる」

「こんなと年のよ」という

ことを父がまねしておこる





平和な新春を寿ぐ

町教育委員長

原

亮

行  
記

ければなりません。目前の

A black and white portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. He is looking slightly to the right of the camera. The portrait is set within a larger block of text.

星が、秩序を保つておるからであります。國にも、社會にも、家庭にも、職場にも、縦横の秩序が必要にして、欠くべからざるものであつて、その為には、法と道德とを守ることが肝要なことは、今更論ずる迄もないこと存じます。

しかも、この明らかな道理が、外輕んぜられておる所に、今日の様々な殺伐不羈な世相の基因があるのではないでしようか。

ですから、物質的に豊かな國、町、家庭作りに懸命になるのと同時に、秩序の確立、道德の昂揚、懸命になることが、また世の識者との配慮すべきことであると思います。

而してこの秩序と道徳の問題は、唯外形的に考へますと、他律的、強圧的なものとなりますので、深く人間の心と連つて考慮されなければならず、こゝに宗教や學問の重大性があると思うであります。

今年の本町社会教育の努力目標の一つに、読書による教養の向上と云うのがあります、己れの智

原亮 恵を磨き、心を養うには、良書による学問が大切でありますと共に、神を折る敬虔な心と、現実の具体的生き方をする為の己れの職務に精進することが必要であります。この様なことからしましても本年の本町教育上の問題として、先づ田代中学校の移転問題と、田代高等学校の充実の問題が浮んで来るのであります。田代中学校は現在小学校と敷地を接し、極めて狭隘であり、運動場もその名に偽せず、講堂も作れず、全く教育の場として不備な実状にあります。田代町将来の為に何としても早急に之を良き地に移転して、中学生成の教育向上をはからねばならぬと存じます。又現在の経済動向と人心の風潮のために、農漁村は次第に人口も減少し、活気衰えて後退して行く様な実状の中では、田代高等学校の推持も難しく、今のうちに之を整理した方が、町の財政の為にも教育のためにも賢明であるかの如き考え方も無いではありませんが然しながら、田代町を真に開化進歩に精進することが必要であります。

利害に迷はされず、田代町の所謂人造りのための最も大切なより所と考えねばならぬと存じます。

経済発展の觀点から考れまして、服部教授は「田代町の産業とその展開」と云う論文の中で、青少年の徹底的産業教育を行い、筋金入りの考える農家を養成せねばならぬ事を強調しておられます。田代高等学校は正にその為にこそ大いに力を發揮すべき所であり、また現に發揮しつゝあるのであります。田代の将来を想う方々の、良識ある配慮を祈るや切なるものがあります。

さてまた町の方々の福祉増進の一助として、上原の三文字の良き場所に簡易郵便局が新春早々開設されることとなりました。

簡易局と云いますのは、その事務取扱の責任者は田代町長であります。町政の一端としての施設であります。川原地区の方々大いに之を利用されまして、福祉増進のために活用されます様、新春の朗報として付け加えさせていたゞきます。年頭にあたりまして平和な新春を寿ぎ、御國の興隆と郷土の健全な發展を祈りまして祝辞と致す次第であります。



『年頭愚感』

教育長

四

正

謹んで新春の御祝詞を申上げます  
教育行政にたゞさわりましてから  
八ヶ月、その間何かれと御協力御  
指導を仰ぎ厚く御礼申上げます。  
今や國に於ては教育による國づ  
くり人づくりの問題が世を擧げて  
論ぜられ世界的にも教育を重んず  
ること今日ほど切なることはない  
時、本町は自然の美しい環境の中  
で小学生一三一〇名中学生七一七  
名高校生二一七名が八拾数名の先  
生方の熱心な御指導と研鑽努力に  
より教育効果が上昇しつゝあります。  
尚社会教育の面も豊かな明る  
い住みよい町づくり人づくりを怠  
願して前進しつゝあります。これ  
も一重に町民各位の教育に対する  
深い関心と御理解のたわものと深  
く感謝いたして います。  
私は常に責任を感じ教育行政の使  
命を達成すべく、どうして町総合

行政と教育行政との調整を計りながら施設設備を図り望ましい教育環境により社会教育環境をつくることが出来るか、その研究と企画をなし執行に努めつゝあります。幸い町執行部議会等の深い理解と協力を得、教育優先の考え方とともに予算等も措置され着々充実されつゝありますので、常に喜びを感じつゝ教育行政に当つています。本町においてはまだ問題は残されていますが、急を要する問題は次のような事かと思います。

1 田代中学校の移転改築

2 田代高校の（施設）内容充実

3 大原小、花瀬分校の完全給食の促進

4 科学教育の振興と学校図書館の充実

5 中学校技術家庭科の充実

中学校移転の問題は数年来のこととで、現在の位置は教育上種々問題があり各層の意見もその必要を認めていますので、小学校の学級増加教室不足等も関係しますし早急にその実現に努力する覚悟であります。尙高校問題は本町独自の立

隠唯一の農業高校として県立移管も考えなければならぬと思います。又児童の栄養体位向上の面から町内すべての学校が完全給食を実施問題もありますが、要は子どもたちの幸福と明るい田代町づくりが使命であると信じます。私たち地教委本来の使命に筋をとおし町と一体となつて今後一層教育行政に努力したい覚悟であります。町のみなさん何とぞよろしくお願ひ致します。

御挨拶

田代町農業共済組合役員一同

明けまして御出で御ござります。

度うござります。

掛金の未納も家畜の未加入もこの正月年中は

し力強い新年度の出発をお願い申したいと思います。

組合員皆様

本年は昨年より以上に努力致す覚悟でありますので組合員皆様も昨年同様御協力賜はりま

すよう年頭に当りお願い申上げ年頭の挨拶にかえさし戴く様になり、一年足らずで妊娠しない牛がクーパー台養器のお蔵

鐵屑の除去かんての駆除等特に牛の飼養管理に効果を挙げましたことは絶べて組合員皆様の御協力の賜ものと深く感謝致しております。

農作物の共済掛金未収も本年度はほんの僅かしか残つて居りません。又家畜共済の方も殆んど全頭加入の線にそれ／＼であります。

組合員皆様

本年は昨年より以上に努力致す覚悟でありますので組合員皆様も昨年同様御協力賜はりま

すよう年頭に当りお願い申上げ年頭の挨拶にかえさし戴く様になり、一年足らずで妊娠しない牛がクーパー台養器のお蔵

## 御挨拶

新年 おめでとうございます



## 大きく変わる学校教育

田代高校長 神田重妙

ことに意義があるので思ひます

お正月を迎えて

こんな事から将来の母親は先づ子供の教育に専念出来る様に教育するわけです。学校によつては被服科、食物科、生活科等置く学校がありこれらも裁縫や料理の専門家になる人を養成します。それで此

田代町婦人会長

「て礼節を知る」ということわざがありますが、わたしたちはなんといつても、家庭の経済を先づり開いていくことが先決だと思います。きゆうすれば通ずるでお互い婦人会員同志最低のきゆうした身によつて、うごくうむけ合ひ氣

時臣の皆さん 明けましておめでとう御座います。昨年は色々御協力下さいましてありがとうございました。どう御座いました。

の家で作らなくとも其着物や洋服の布地の見分け方や手入法を知つておれば良い事になり時間をかけて皆がけいこする必要がなくなる

人はそんな学校を選ぶと良いわけです。男子の方は農業科と言う名前はそのままですが之からの時代はなんでもやではダメで非常に専

明けまして、おめでとうございます。  
がよ。

新らしい年を迎える心からお慶祝  
がよ。二度目。

持こそ、婦人会の使命があるものと信じます。形式にうつかりひきずられて自分が今どんな位置に立つてはいるか。心しらずかに考えおよ

田代高校で申しますと今迄家庭科教育の重点がどこに多く時間かけてきましたがこれからは子供の保育教育と言ふ事に重点がおかれる様になります。なぜこんなになるかと言いますと世の中が段々進んで着物も洋服も自分の家で作るよりずっと良いくらいのものが安く手に入りる様になり将来の家庭婦人は自分

少年の犯罪と言つたことが社会の重大問題になつておりますが之は母親が余りにも忙過ぎて充分に子供の相手になつてやれない愛情不足から来ることだと言われています。どんなに忙しくはたらきどんなに金をもうけても子供にそむかれたら何の楽しみがありましょうか、又親として責任を果したことになりましょうか。親子二十分間読書運動と言うのがあります。之も本を読むこと自体良いことで、それがそれ以上に見つかるが二十分間でも子供と一緒にいてやると言う

技術を身につけて其事業を立派に經營出来る人にしなければなりません。就職を希望する人にはそれによきわしい基礎的な人間教育をしなければなりません。今農業構造の改善等と言つて方々で農業のしが變りつゝあります。が後十年も立てば農村の様子はびっくりする程變ると思います。此時に立派にやつて行ける人を作つて行かねばなりません。それこそ三十八年は大きく変わる年ですからお互に手を取り合つて研究を進めたいものと思います。

婦人会は婦人会、講習会は講習会で生活と直結していることに気づくことが多い感がいたしました。衆人の前で自己をカバーして欠点をさらけ出さないで、お互いに話し合い、助け合う気運は残念ながらわだしきをはじめとして、出来なかつた年でした。すべての教養や研修はわたしたちの日常の経済や食生活、衣生活を直結しないところではその成果はのぞめませんしかしまた読書生活はその限りではありませんが、「衣食たたない、存りますが、

いにほめあい、助け合い、そして家庭ではその希望を表現へと、日々努力こそが残された生きがいのある問題だと考えます。どうか家庭では、おかあさん方、うるおいのない手として一家の経済のかじ手として、時にはそのことに熱し、時には家じゆうに笑いを集めその勢いが、田代町民一同に会したとき、大きな田代町進展のいぶきとなるよう。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。